

洗濯は必要！！手洗いは必要！？～洗濯と私たちと環境～（5時間扱い）

授業者 安達 聡子

1. 家庭科の目標・本題材の目標・育成を目指す資質・能力を踏まえた題材の評価規準

家庭科の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	家庭科の見方・考え方		
	家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係わる生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること		
	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等など (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	家庭生活を大切にできる心情を育み、家庭や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。	
本題材の目標	洗濯の必要性や環境に配慮した洗濯の仕方について考えたり、実践したりすることを通して、洗濯の仕方を理解し、適切にできるようにする。		
	手洗いを中心とした洗濯ができる。	これまでの生活経験を生かし、洗濯と環境との関連に目を向け、調べたり考えたりしたことを表現することができる。	自分たちの生活と洗濯の関係に関心を持ち、洗濯の必要性や仕方について進んで調べたり、実践したりしようとしている。
	それぞれの作業の必要性が分かり、手洗いで洗濯の仕方を理解している。		
	評価1	評価2	評価3

《題材について》 C 快適な衣服と住まい（1）イ、身近な消費生活と環境（2）ア

（次期学習指導要領からは、B 衣食住の生活（4）ア（イ）、イ）

本題材では、日々繰り返し行われている洗濯に目を向け、洗濯の必要性や環境に配慮した洗濯の仕方について調べたり実践したりする活動を通して、現代における手洗いの必要性について考えるとともに、洗濯の仕方を理解し、適切にできることを目指している。

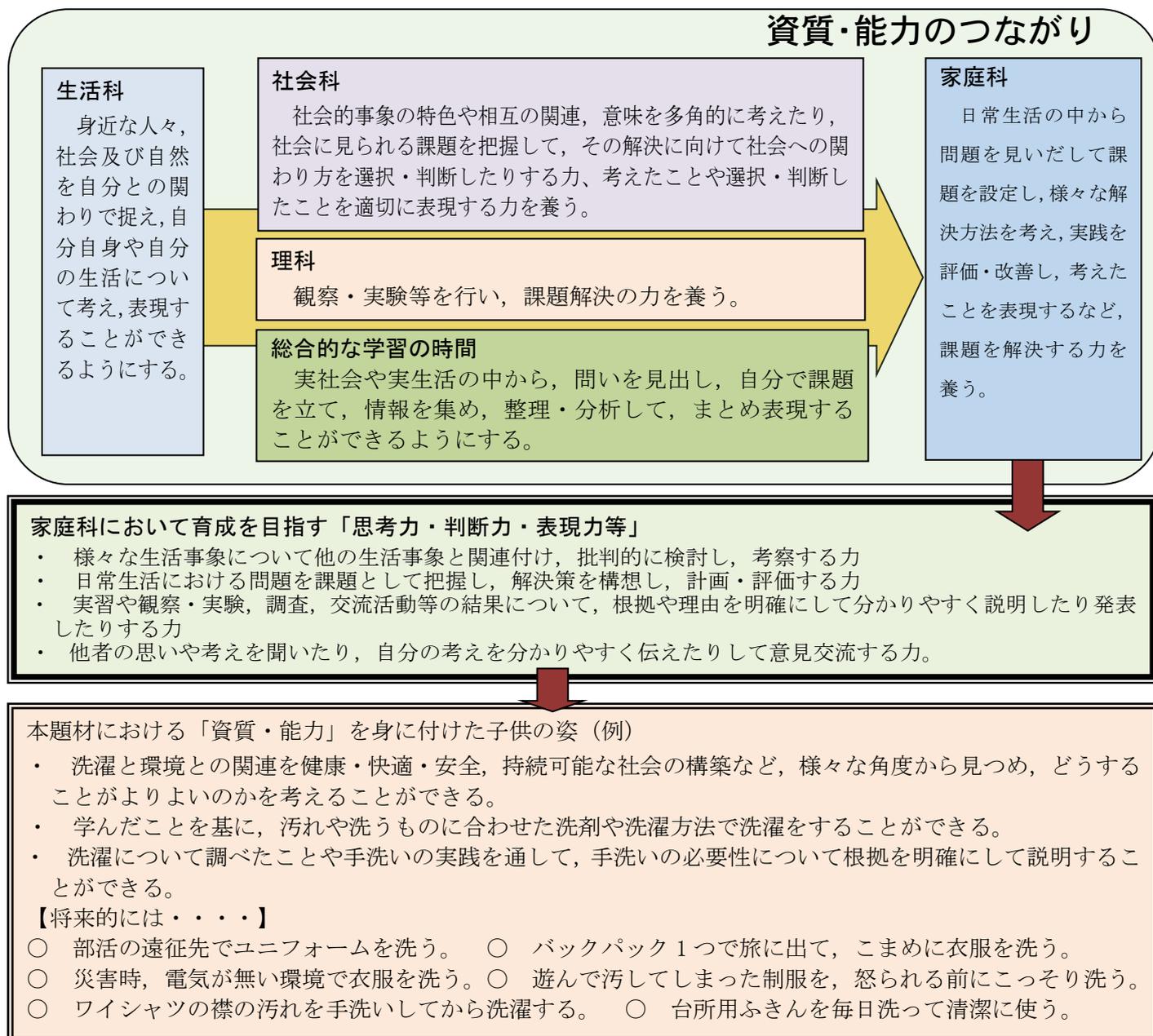
私たちの生活では、洗濯機による洗濯が主流である。洗剤や洗濯機の商品開発が進み、衣服や汚れに合わせた洗濯がコース選択で可能になっている。そのため、家庭において手洗い洗濯を施す頻度は減っている。しかし、数年後、部活動の遠征でユニフォームを洗うことや、万一の災害時に衣服を洗い、できるかぎり衛生的に暮らすことを考えると、手洗いで洗濯の仕方を身に付けておくことは必要である。

今回は、手洗い洗濯の仕方だけでなく、洗濯によって生まれる環境問題などに目を向けながら、学習を展開していく。様々な資料をもとに洗濯と環境について考えることや実践を通して、手洗い洗濯のよさや必要性に気付かせていきたい。

そのために、子供たちが自分の生活を様々な視点から見つめ直すことができるよう、現代の手洗いの状況や洗濯をすることで生まれる環境問題などについての資料を提示し、問題提起をしていくことを大切に単元を構想したり、学習活動を工夫したりする。そうすることで、洗濯の知識や技能だけでなく、環境に目を向けながら家庭生活をより快適にしていくにはどうすべきか考える力や、それらと折り合いを付けながら生活をしていく心情をも育んでいくことができると考える。

2. 研究との関わり

(1) 資質・能力の育成を支える「学びの文脈」～「思考力・判断力・表現力等」を中心として



(2) 「主体的・対話的で深い学び」を保障する手立て

○ 手立て1 **多面的に問題を見つめ、学習の見通しをもつことができるような資料提示**

子供たちが普段何気なく見ている洗濯のことを様々な視点で見つめることができるような資料を提示する。例えば各家庭における、洗濯機の種類や効果、手洗いが必要となる場面や手洗いのよさについてわかる資料である。そこから、洗濯について自分が知っていることと、事実との違い等に気付かせながら、子供たちの疑問や知りたいという思いを誘発する。

また、環境に配慮した洗濯の仕方や衣服に合った洗濯の仕方に目を向けることができるような、洗濯表示や洗剤など具体的な資料提示も行う。資料を活用した課題の設定を工夫することで、子供の主体的な学びを支え、家庭生活を支える仕事と自分、環境との関わりに気付き、学習の本質にも迫っていくことができるようになる。

○ 手立て2 多様な考えを共有し、自分の価値観を明確にできるような場の設定と対話

生活の営みに係るすべてのことは答えが一つではない。だからこそ、私たちは自分の生活を見つめ何をどのようにするのがよりよいのかを考えることが大切である。

そのため本単元では、自分の家庭における洗濯の様子など、知っていることや調べたことなどの情報を共有し、自分と友達の考えを交流する場を多く設定する。交流においては、物事を多面的に見た情報や、様々な考えを基にした深い思考を通し、自分の考えを明確に表現することを重視する。

合わせて、子供の思考をゆさぶったり問い返したりする教師の言葉がけで、子供たちの深い思考を促したい。それらの積み重ねが、自分の価値観を明確にし、さらには、自分の新しい価値観を生み出すことにもつながると考える。

○ 手立て3 「見えないところを見る」ための道具として ICT を活用する

家庭生活を支える仕事の多くは、子供たちが日中学校にいる時間や放課後の習い事の時間に済まされておられ、わかっているようでわかっていないことが多い。そこで、ICT を活用し普段見ることができない洗濯の様子を見たり、汚れの落ち方などの洗濯の仕組みを知ったりすることで、「うちはどうなっているのかな?」「だから～だったんだ。」と自分の生活を見つめ直したり、「もしかすると～した方が本当によりよいのではないか。」など、自分の考えを何度も問い直すことにつながる。

3. 単元のグランドデザイン

	洗濯は必要?	服を大切にしながら地球に優しい洗濯は可能?		私たちができること
	1	2	3 (本時)	4・5
開始期	問題・課題の把握 洗濯は必要?	問題・課題の把握 服を大切に着るための工夫を考えよう。	問題・課題の把握 洗剤と節水の関係を考えよう。	問題・課題の把握 実践! 地球に優しい手洗い
	洗濯と環境との関わりに関する資料を提示			
展開期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の家庭生活を見つめながら洗濯の必要性について考える。 ・資料を基にした分析と整理 ・自分の考えの交流 洗濯は必要? 不必要?	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洗濯表示や汚れがひどいものの洗い方について自力追究をする。 うちで調べたことと比べてみたらどう?	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際の洗剤や資料を基に、どのような洗剤の使い方が環境に良いのかを考える。 本当にいいのはどっちなの?	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洗濯機が行う洗濯のしくみを知る。 洗濯機 視聴覚教材 <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習を基に実際に洗剤の使い方に気を付けて手洗いをする。 ○ 実践を基にして、洗濯機と手洗いのメリットデメリットについて考える。
まとめ期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流したことを基に題材の見通しをもち、学習計画を立てる。 気に入った服は大事に着たいから洗濯は必要なんだね。洋服を大事にしつつ、環境を守る事なんてできるの?	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたことを基にそれぞれ分かったことを交流する。 素材に合わせて手洗いをすることも大事なんだね。でも本当に手洗いは必要なの?	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流したことを基に洗濯と環境の関係について自分なりの考えをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな時間だったか ・新しく学んだ事 ・何がうまくできて、何がうまくできなかったか ・誰と何を交流したか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境に配慮した洗濯が可能か不可能か根拠を明確にして交流する。 ○ これまでの学習を通して、自分の学びを振り返る。

4. 本時案 (3 / 5)

学習活動 (○) と子供の姿		教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習や生活経験, 資料などの情報から洗剤と水との関係を見つめることを通して, 環境に配慮した洗濯の仕方について考えることができるようにする。 		
<p>○ 店頭で見られる洗濯洗剤を提示し, 知っていることを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>これはうちでも使っているなあ。すすぎが一回だけだよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>最近うちはこれに変えたよ。カプセル 1 つ入れるだけでいいんだよ。</p> </div> <p>○ 洗濯が水に与える影響に関する資料を提示し, 本時の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>水は汚れてしまうけど洗濯は必ずしなければならないし…。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水をなるべく汚さずに洗濯する方法もあるのかな。</p> </div>	<p>☆ 子供たちが自分の過程を見つめることができるよう, 実物の洗剤を用意する。 【手立て1】</p> <p>☆ 知ってそうで知らないことや何となくしかわかっていない洗濯が水に与える影響に気付くよう資料を提示する。 【手立て1】</p>	
<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>水にとって本当によいのはどれ?</p> </div>		
<p>○ 洗剤の表示を読み取ったり, 資料を読み取ったりしたことで, 自分の環境に対する考えを基に, どの洗剤が水にとってよいのかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>これは少ない洗濯の量でできるから, 水をそんなに汚さないよね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>化学洗剤と洗濯石けんって何が違うの?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>たくさん洗剤を入れても, 効果は変わらないのか。水を汚すだけなんだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>洗濯石けんって使ったことがないけど, 汚れはきれいに落ちるのかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>カプセル洗剤のよさって何か。なんで家では使っているんだろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>石けんは植物性だから, 自然に還ってくれるんだね。</p> </div> <p>○ 根拠を明確にししながら, 考えを交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ぼくは, すすぎが 1 回ですむ洗剤がいいと思う。使う水の量を減らすことが 1 番大切だと思うから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>わたしは, カプセルタイプの洗剤だと思う。これだと, 必要以上の洗剤を使わないし, 水も洋服も大切にできるから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>わたしは, 洗濯石けんにします。たくさん洗濯をして水を使っても, 必ず自然に還るから。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>何を使っても, いいところと悪いところがあるから, 決められないなあ。</p> </div>	<p>◇ 自分たちの生活に目を向け, 環境に配慮した洗剤の使い方について進んで考えようとしている。 【評価3】</p> <p>☆ 子供たちが実際に洗剤を手にとって, 表示などを見ることができるよう, 洗剤の種類や数を十分に保証する。</p> <p>☆ より多くの考え方に触れたり, 自分の考えを整理したりすることができるよう, 自由に交流する時間を保証する。 【手立て2】</p> <p>◇ これまでの生活経験を生かし, 洗濯と環境との関連に目を向け, 調べたり考えたりしたことを表現することができる。 【評価2】</p> <p>☆ 子供たちが考えを比べたり, 新たな考えに気付いたりしながら, 自分たちでよりよい選択ができるよう, 効果的に子供の考えを板書に記録する。</p> <p>☆ 多様な考えに触れながら, 生活者の一人として環境との関わりを見つめることができるよう, 本時の課題を問い直す。 【手立て2】</p>	
<p>○ 本時の学びを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>今日は, 洗濯と環境について真剣に考えた時間だった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>洗剤には, 石油から作られている物と植物から作られている物があることが分かった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>洗濯で汚れた水を処理するためにもエネルギーが使われているということが分かった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「自然に還る」という言葉を聞いて, 洗濯石けんのよさがわかった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>便利さと環境のバランスを考えるのは難しかったけど, 友達と話して少し分かった。</p> </div>	<p>☆ より考えが深まったり, 次への見通しや課題をもったりすることができるような振り返りの視点を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんな時間だったか • 新しく学んだ事は何か • 何がうまくできて何がうまくできなかったか • 誰と何について交流したか 	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>洗剤の選び方や使い方を工夫することによって, 環境を守ることにつながるんだね。</p> </div>		